

氷川参道

大宮区

NO・29



周辺図



アクセス方法

JR「大宮駅」東口から徒歩10分

視点場 氷川参道

視対象 氷川参道の並木

所在地 大宮区吉敷町から高鼻町にかけて

都市景観
構成要素 自然景観:ケヤキ並木
歴史文化景観:鳥居
暮らしの景観:並木道を散策している人々

方向
(視点場から) 北/南

景観の特徴 旧中山道の一の鳥居から氷川神社までの約2kmの並木道。参道の空間や氷川神社までの眺望は、長い年月とともに醸し出された歴史的な佇まいと共に訪れる人の目を楽しませる。

撮影年月

2006年4月 午後4時

氷川参道

大宮区

NO・30



周辺図



アクセス方法

JR「さいたま新都心駅」より徒歩7分
 又はJR「さいたま新都心駅」東口よりバス、大宮駅東口行き「一の鳥居」下車すぐ

視点場 氷川参道

視対象 新都心

所在地 大宮区吉敷町3丁目

都市景観構成要素
 歴史文化景観：一の鳥居
 市街地景観：さいたま新都心
 暮らしの景観：並木道を散歩している人々・行き交う車

方向 (視点場から) 南

景観の特徴
 氷川参道の鳥居10m北側から見た、さいたま新都心。緑が広がる並木道と対照的な景観が面白い。

撮影年月

2007年10月 午後1時

御手洗池

大宮区

NO・31



周辺図



アクセス方法

JR「大宮駅」東口から徒歩20分

視点場 御手洗池

視対象 氷川神社の神橋

所在地 大宮区高鼻町4丁目

都市景観
構成要素 自然景観: 氷川の杜(境内)
歴史文化景観: 神橋

方向
(視点場から) 水辺から南西／北東

景観の特徴 氷川神社に向かう赤い橋は、神聖な空間への架け橋である。池から望む景観は神秘的な表情を見せ、日が当たるとその趣が一層感じられる。

撮影年月

2007年10月 午後3時

上小町

大宮区

NO・32



周辺図



アクセス方法

JR「大宮駅」西口よりバス、大宮駅東口行き「上小小学校」より徒歩2分

視点場 上小町

視対象 さいたま新都心(夜景)

所在地 大宮区上小町

都市景観構成要素 市街地景観：桜木町の街並み・さいたま新都心

方向 (視点場から) 南南東

景観の特徴 上小小学校近くの歩道橋から見た、さいたま新都心。日中や日没後の夜景など時間によって変化を見せる様子は面白い。

撮影年月

2008年2月 午後6時

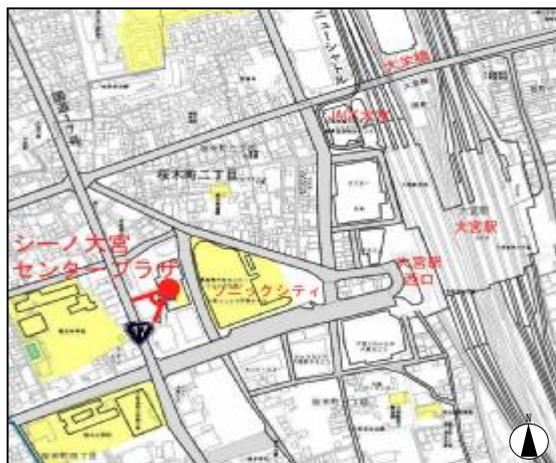
シーノ大宮センタープラザ

大宮区

NO・33



周辺図



アクセス方法

JR「大宮駅」西口から徒歩5分

視点場	シーノ大宮センタープラザ
視対象	富士山
所在地	大宮区桜木町1-10-18 7階

都市景観構成要素
自然景観: 富士山
市街地景観: さいたま市の街並み

方向
(視点場から) 南西

景観の特徴
シーノ大宮センタープラザは、大宮駅周辺の高層ビル内にあるさいたま市のコミュニティ関連施設である。7階にある生涯学習センターから、さいたま市の街並みと富士山を一望することができる。
※富士見百景選定地点
【平日・休日 9:00~21:30(年末年始など休館日あり)】

撮影年月

2005年12月 午前8時

ほこすぎ橋

大宮区

NO・34



周辺図



アクセス方法

JR「さいたま新都心駅」東口から徒歩3分

視点場

ほこすぎ橋

視対象

ライトアップ

所在地

大宮区吉敷町4丁目

都市景観構成要素

市街地景観:さいたま新都心・ほこすぎ橋

方向 (視点場から)

南西

景観の特徴

氷川参道からさいたま新都心を結ぶ、アーチ状の橋からみるライトアップ。歩行者と自転車の専用道路で、橋上には(ハナミズキ、コグマザサなど)の植栽が配置されている。

撮影年月

2007年12月 午後6時

大宮駅西口ペDESTリアンデッキ

大宮区

NO・35



周辺図



アクセス方法

JR「大宮駅」西口から徒歩3分

視点場 大宮駅西口ペDESTリアンデッキ

視対象 ソニックシティ

所在地 大宮区桜木町1丁目

都市景観構成要素 市街地景観:ソニックシティ

方向 (視点場から) 西

景観の特徴 多くの人々が行き交う西口ペDESTリアンデッキから、大宮のランドマークであるソニックシティを望む。白い外壁が印象的である地上31階の複合コンベンション施設。

撮影年月

2007年12月 午前10時

合併記念見沼公園

大宮区

NO・36



周辺図



アクセス方法

JR「大宮駅」東口よりバス、自治医大医療センター行き「終点」下車、徒歩1分

視点場

合併記念見沼公園

視対象

さいたま新都心

所在地

大宮区天沼町1丁目

都市景観構成要素

自然景観：雪・夕焼
市街地景観：合併記念見沼公園・さいたま新都心
暮らしの景観：公園内を楽しむ人々

方向 (視点場から)

南西

景観の特徴

平成19年に完成した合併記念見沼公園内から見る、さいたま新都心。広い敷地内には、ビオトープなどの施設もあり、また多くの人々が訪れるため良い視点場であると考えられる。

撮影年月

2008年1月 午後5時

旧中山道

大宮区

NO・37



<p>周辺図</p>	<p>視点場</p>	<p>旧中山道</p>
	<p>視対象</p>	<p>ケヤキ並木</p>
	<p>所在地</p>	<p>大宮区北袋町1丁目付近から</p>
	<p>都市景観 構成要素</p>	<p>自然景観:ケヤキ並木 市街地景観:大宮区の街並み 暮らしの景観:旧中山道を行き交う 車や人々</p>
	<p>方向 (視点場から)</p>	<p>北北西</p>
<p>アクセス方法</p>	<p>景観の特徴</p> <p>市街地の中に残された数少ない並木であり、わずかな区間ではあるが清々しさを感じることができる。</p>	<p>撮影年月</p>
<p>JR「さいたま新都心駅」東口より徒歩6分</p>		<p>2005年7月 午後1時</p>